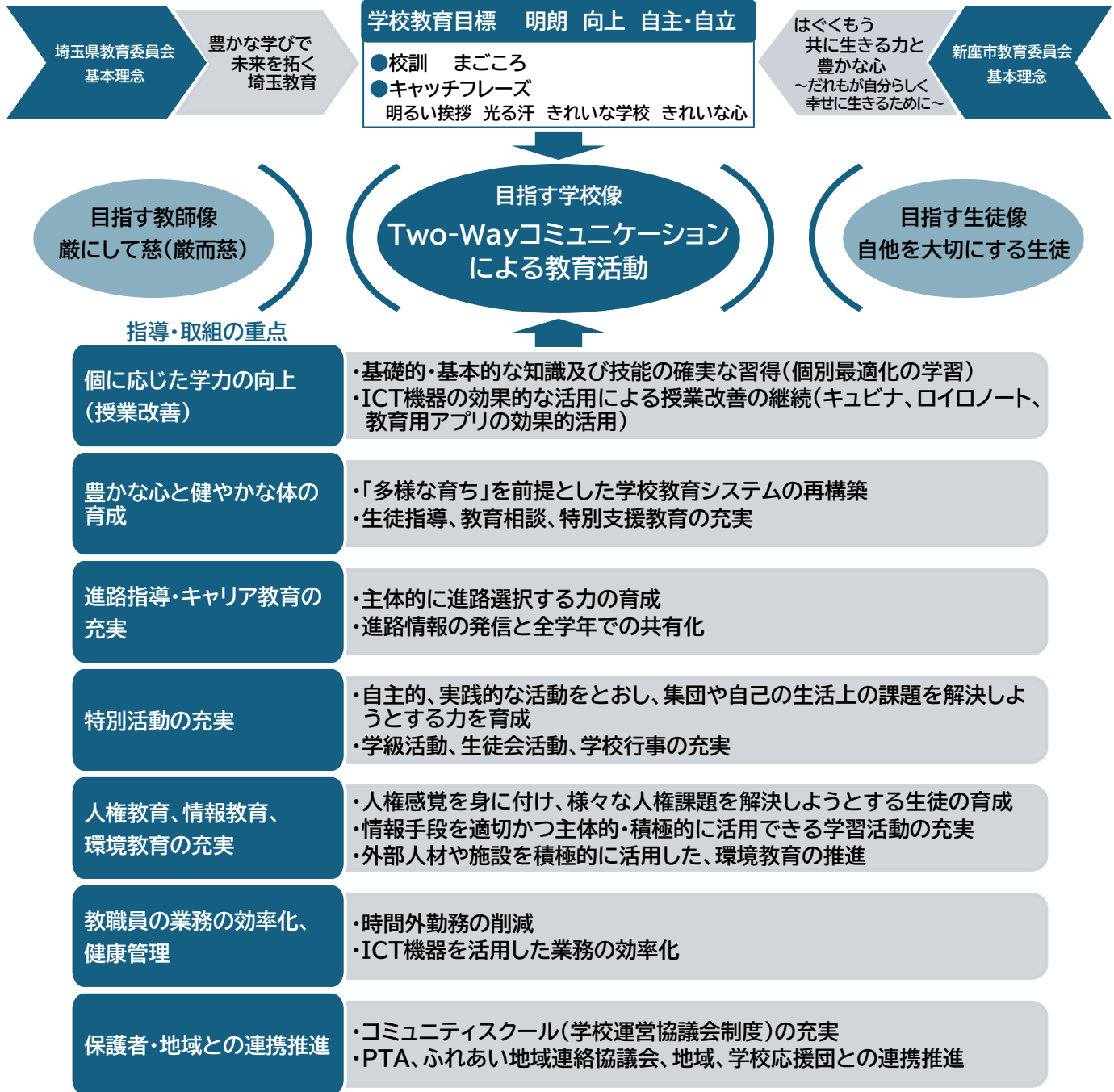


# R7新座市立第二中学校 学校経営全体構想



令和7年度における  
学校経営の重点課題

「多様な育ち」を前提とした学校システムの再構築

学校や教室に「根を張る場所がない」生徒への支援

- 原則3クラスを1チームとして4人が協働して担任する。(集団秩序の管理)
- 効果的な運用による、学年の組織力の向上(学年主任を中心としたチーム間コミュニケーション)

チームUp担任制の  
効果的運用

- 「登校回避につながる感情の調査」を参考とした対応
- 気にかけていた生徒5名程度をメンターとしてグリップする。
- 年度当初の教育相談において担当となった教員が年間を通して相談の窓口となる

メンター制の効果的運用

- ①相談室登校「ピット」(従来型)、②スマスタ登校(ST支援型)の機能分離
- 教員が分担して、③スマスタ登校における学びの保証(質問教室、教科指導)を行う。
- ④スマスタ登校担当者の配置

校内教育支援センター  
①②の効果的運用